

様式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成26年度）

1. 機関番号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 挑戦的萌芽研究 4. 補助事業期間 平成26年度～平成27年度
5. 課題番号

2	6	5	6	0	0	2	8
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 僧院における統制されたライフスタイルが少年僧の発育発達に及ぼす影響

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
5 0 1 1 4 0 4 6	オオサワ セイジ 大澤 清二	人間生活文化研究所	所長

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
4 0 5 7 9 1 8 2	タカハシ スミコ 高橋 寿美子	人間生活文化研究所	助手
6 0 3 2 2 4 3 4	シモダ アツコ 下田 敦子	人間生活文化研究所	助手

9. 研究実績の概要

人の身体発育発達には食事、運動などの因子の役割が大きい。しかし現実にはこれらの条件を実験的に統制して発育発達を観察、測定する事が困難な為に、未だにこの研究の核心に至っていない。そこでこの課題を解決するためにタイの僧院で10年間の生活を送る少年僧約400名の発育（身体形質、栄養状態）と発達（運動機能や身体能力）、衣食に関する追跡調査を行う。彼らは家族や異性と分離され、衣食を制限され、スポーツが禁止され衣食住・ライフスタイルの要素をほぼ完全に統制されており、極めて厳密な統制的生活条件下で発育発達している。この研究では、実質1年6ヶ月間の追跡研究によってこれらの生活因子が発育発達とライフスタイルに対する態度・行動に及ぼす影響を探求する。測定項目はA)形態測定、毎月、B)栄養状態、C)生活スキル17項目、微細筋運動スキル28項目、粗大筋運動スキル15項目、D)性成熟、運動能力、体力項目、E)食、衣行動項目である。

平成26年度は月次計画にそって概ね順調に以下の調査活動を行った。5月：現地で調査チームの結成をし、記録簿の準備、家族への説明と承諾。6月：研修会の開催：全協力者400名と測定協力者の教員10名に対する研修会。全僧院の協力体制づくり。7月：A)隔月に身長、体重測定を開始。8月：上記B)、C)、E)の測定・調査。9月：D)の測定。同時に全僧に対して経過を報告し、協力を謝し、問題点を協議。10月：これまでの記録を僧院でデータ入力し始める。12月：データを予備的に検討する。2月：第2回目のB)、C)測定・調査を実施。3月：初年度の経過を現地に報告し、協議する。経理上の整理。